

高齢者のやまねの家 やまね

だより 35号

発行者 ボランティアグループ なの花
会長 森田 元治
発行所 792-0834 新居浜市中西町 16-20
「やまね」 Tel 0897 41-0104
発行日 2011.12.1

(1年間お世話になりました)

年の瀬を迎え気分的にせわしくなっていました。寒さがだんだん厳しくなってきましたが、インフルエンザなどにかからないよう気をつけてください。

この1年間いろいろご支援ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

みなさんにとって来年がいい年でありますように。

川之江高校に招かれて

川之江高校が平成22、23年度人権教育研究指定校に指定され、11月4日その研究の成果発表が各高校の関係者が参加した中で行われました。

生徒がいろいろな課題と取り組んだその結果の発表がありました。

例えば、介護施設での入所者との関わり方、また地域に出向いて高齢者に生活体験や、戦争の話を聞いて得た発表には実感がこもっていました。

3月に同校の人権委員会で、ボランティアグループなの花の代表者が「原爆体験のはなし」をしましたが、そのことで招かれたものです。



アルミ空き缶の回収に感謝

アルミ空き缶やプルタブの提供を多くの方々にいただいていることに心より感謝申し上げます。

これからもよろしくご協力の程お願いいたします。

介護サービスをもっと知ろう

学習会 開く

11月11日 介護サービスについての話を「おくらの里」のソーシャルワーカーに来てもらい聞くことができました。

いちばん関心事は、どこの誰に、どんなことを相談したらいいのかということでした。

いろいろ話を聞いて少し分かったとの声。

まず、介護保健証、医師の診断書、申請書の3セットがそろうのがスタートということです。そして、市の介護認定を受け、ケアプランをケアマネージャーに作ってもらおう。その後介護サービスを受ける。

差し迫った方と、まだ先がある方とでは話の受け止めに違いがありました。

「家族と同居していても事情があつて見てもらえない場合は」との質問に、「調査に来た人やケアマネージャーにそのことを話しておく、配慮してくれる。」ということでした。

特養ホームでは、「施設長などが特別に入居ベッドのポケットを持っているのか」との質問がありました。これにソーシャルワーカーはそういうことはありませんと答えました。

話を聞いて、「少しは分かった。一番知りたかったことが聞けた。」ということでした。

クリスマス会のご案内

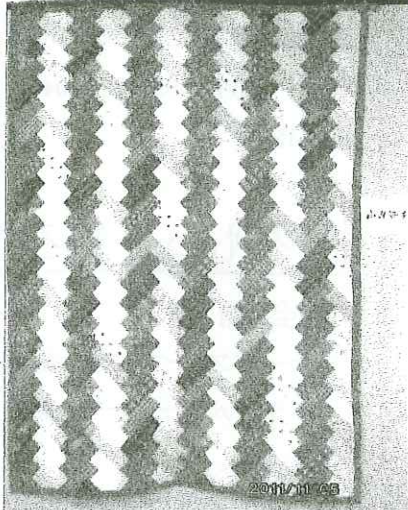
12月24日 午後1時より やまね

裏面もどうぞ!

やまね作品展の様子を記載しました。



パッチワーク



やまね作品展
11月5日 6日

約80点が出展され
そのいくつかを載せ
ました。

マフラー



藤田マリ子



生花

宮島俊子

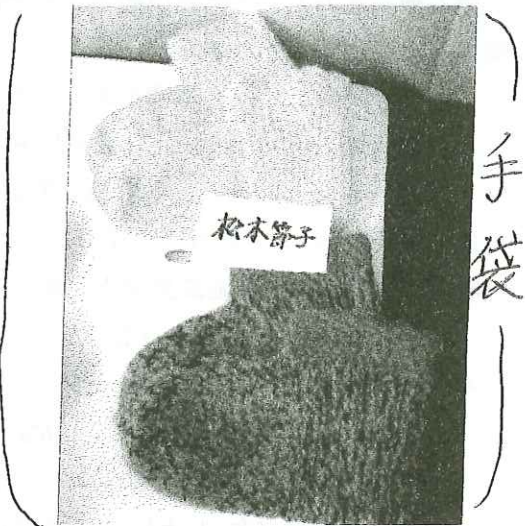
2011/11/05



ベスト

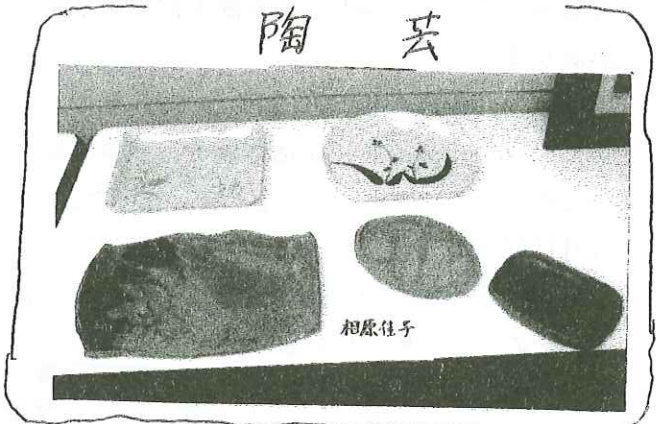
松井孟子

2011/11/05



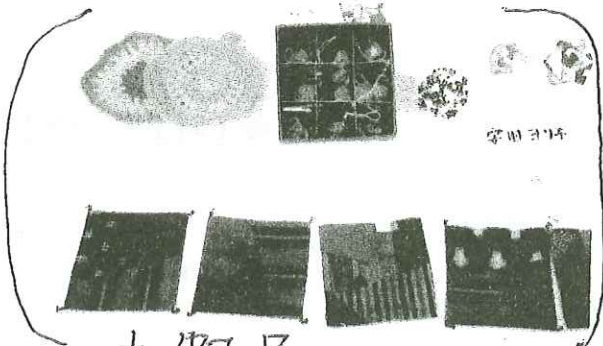
手袋

松本節子



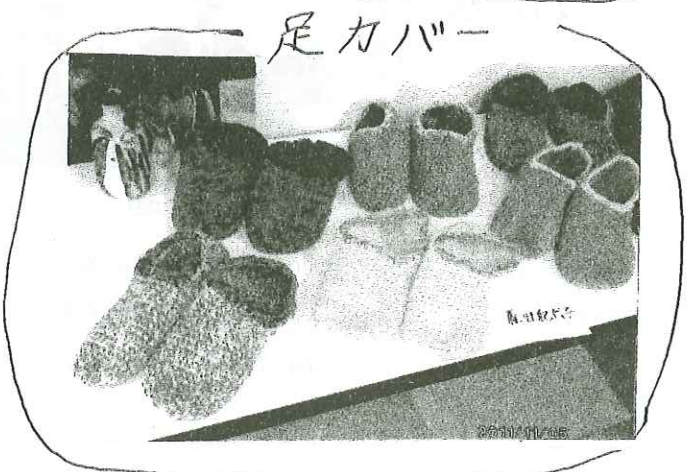
陶芸

相原佳子



小物品

宇田幸子



足カバー

藤田敏子

2011/11/05